# 三鷹市立南浦小学校　令和8年度【家庭】授業改善推進プラン

| | 前年度授業改善推進プランの検証 | 学習状況の現状と課題 | 指導方法の課題と授業改善策 |
|---|---|---|---|
| 第1学年 | | | |
| 第2学年 | | | |
| 第3学年 | | | |
| 第4学年 | | | |
| 第5学年 | | ○調理実習は計画的に行うことができ、用具の扱いも安全に行うことができた。振り返りでは話し合い活動を通して友達の意見のよさに気付き、自分の考えを見直すことができた。<br><br>○裁縫の学習では動画教材だけではなく、児童同士で教え合ったり地域の人から教えてもらったりしながら縫う練習をする児童の姿が見られた。<br><br>○家庭生活をよりよくするための工夫について話し合ったり、発表し合ったりする時間を十分に確保することができなかった。また、家庭の仕事の分担、調理の補助などを家庭で生かすことができた児童が一部にとどまってしまった。 | ○動画教材の活用や児童同士の教え合い・地域連携をさらに進め、各単元で押さえるべき重要用語や使用方法について定期的に確認して児童の知識の定着を図る。<br><br>○タブレット端末等を用いた意見共有を取り入れることで、「生活の営みに係る見方・考え方」を互いに広げ、深め合うようにする。また、学んだことを家庭で実践することができるよう単元の最後に、自分の生活にどう生かすかについて考える時間を確保し、家庭科と家庭のつながりを意識しやすくなるように指導を行う。 |
| 第6学年 | ○地域の人材を有効活用した。裁縫だけでなく、調理や栄養、掃除の仕方などご協力いただける内容は様々あるので、技術的なサポートに留まらず、ゲストティーチャーとしてお話をしていただく機会を設けた。<br><br>○基礎的な知識の定着を行うため、実習前に教科書を用いて十分に指導をし、実習後は振り返りを行うことで知識の定着を図った。<br><br>○学習したことを生かして、学校や家庭で実践する機会を設け、それぞれの取組みについて紹介し合うことで、家庭生活をよりよくするための工夫を考えさせた。 | ○調理実習は計画的に行うことができ、用具の扱い方や調理方法も安全に行うことができた。<br><br>○家庭で実践する機会を設けたので、家庭での生活時間を見直したり、朝食を作ったりして家庭で生かすことができた。<br><br>○地域の人材を有効活用ができなかった。 | ○調理実習前に用具の使い方や調理方法、調理の分担等を細かく分ける時間を設けて、スムーズに活動ができるようにする。<br><br>○どの単元にも学習の最後に家庭で生かす取り組みを計画することで、学習でしたことを振り返り、深い理解・学びへとつなげる。 |